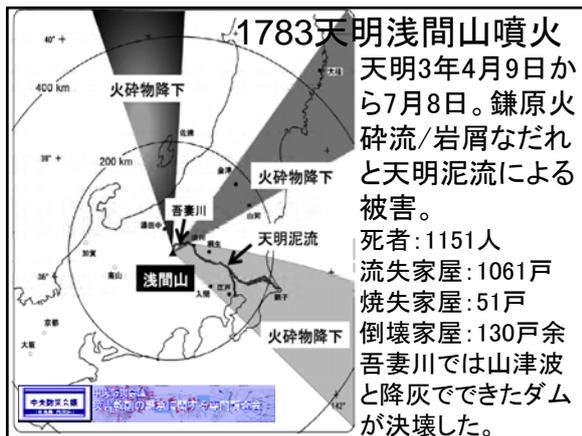
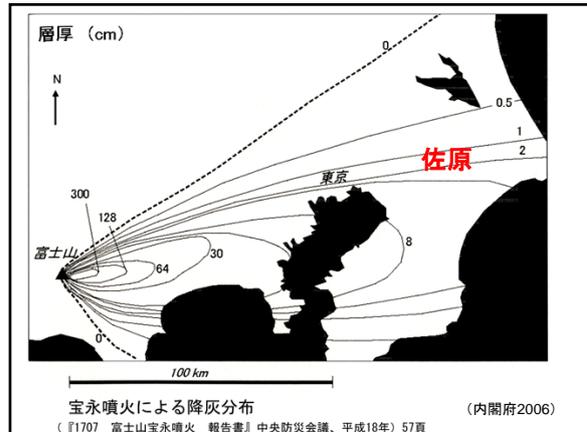


1707 宝永富士山噴火

日時: 宝永4年11月23日～12月9日
概要: 一次被害では直接的な人的被害は記録されていないものの、降下した火砕物により建築物の倒壊や農作物の耕作不能化、山林・草地の荒廃、道路の遮断、さらに流出した火山灰がもたらした用水路・河川の氾濫など、農林業を中心とする生活活動・経済活動に長期かつ広範囲にわたって多大なる被害を与えた
主な被災地域: 富士山東側(静岡県、神奈川県、山梨県)、江戸にも降灰、佐原の記録。



1783 天明浅間山噴火
 天明3年4月9日から7月8日。鎌原火砕流/岩屑なだれと天明泥流による被害。
 死者: 1151人
 流失家屋: 1061戸
 焼失家屋: 51戸
 倒壊家屋: 130戸余
 吾妻川では山津波と降灰でできたダムが決壊した。

1910 明治43年水害

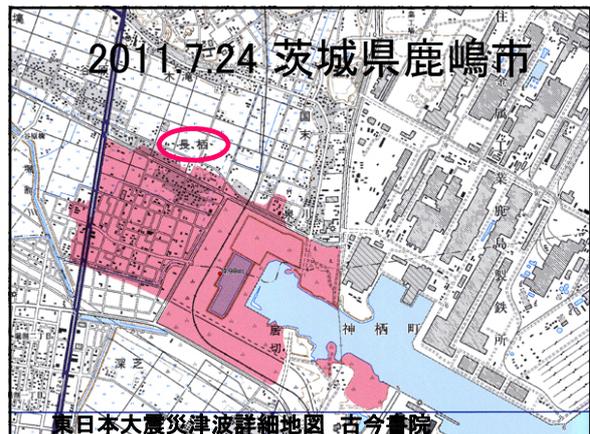
日時: 明治43年8月6日から14日
概要: 利根川はじめ各河川の既往最大洪水水位を記録。上流域では山地崩壊や土石流の土砂災害が発生。
主な被災地域: 埼玉県内の平野部の大部分。東京府南足立郡・北豊島郡の北半分、南葛飾郡の7割、東京市の下谷・浅草・本所・深川が浸水。この水害を受け総延長22kmの荒川放水路が計画され、昭和5年に竣工した。

1917 東京湾台風(高潮)

日時: 1917(大正6)年10月1日
概要: 「暴風海嘯」あるいは「津波」と呼ばれた高潮災害を特徴とする台風災害。最高潮位は月島でT.P.(東京湾平均海面) 3.1m。
主な被災地域: 東京市中心部、中川以東の南葛飾郡、品川以南から多摩川に至る東京湾沿岸、千葉県東葛飾郡の太平洋沿岸。
被害: 死者1,127人、行方不明者177人、負傷者2,022人、全壊家屋36,459棟、半壊家屋21,274棟、流失家屋2,442棟。

1947 カスリーン台風

日時: 1922(昭和22)年9月
概要: 関東地方をかすめたカスリーン台風は、東日本各地に記録的な豪雨をもたらし、大水害を発生させた。特に、利根川の本支線では随所で堤防が決壊・氾濫し、河川流域一帯に甚大な被害を及ぼした。
被害: 死者1,077人、行方不明者853人、負傷者1,674人、住家損壊9,296棟、浸水384,743棟(理科年表)



まとめ

- ☑東京低地は、約6000年前の縄文海進期以降、利根川・荒川など河川の堆積作用で陸化が進み、形成された。
- ☑関東平野を取り巻く、火山群の噴火活動も、東京低地に影響を及ぼした。
- ☑多くの災害は避けては通れないが、私たちが生活する土地の履歴を知り、災害からの教訓を未来に継承することが今、求められている。
- ☑自然に想定外はありません。

